

福祉の

# かさまつ社協



## 第197号

令和4年9月1日

〒501-6063  
岐阜県羽島郡笠松町長池408-1  
TEL (058)387-5332  
FAX (058)387-5134  
E-mail : kasafuku@ccn5.aitai.ne.jp  
<https://userweb.alles.or.jp/kasafuku/>

## 夏休み!オンラインでたのしい「ふ・く・し」

(詳細は3ページ)



オンラインによる特別養護老人ホームの施設内の見学



みんなで体操♪

### 目次



- 小学生のためのボランティアスクール…………… 1
- 行事だより…………… 2
- 夏休み特集…………… 3
- ボランティア情報…………… 4
- ないす♡はあ〜と…………… 5
- 地域包括支援センターだより…………… 6
- 社協会費報告 など…………… 7
- 支え合いサポーター養成講座 など…………… 8

# 行事だより

すべての事業はコロナウイルス  
感染防止対策のうえ実施しております



## 福祉出前講座

6月17日(金)23日(木)笠松小学校で5年生に福祉出前講座を行いました。

17日は「福祉について」と「社会福祉協議会の仕事内容」を本会職員が話し、「福祉」は笠松町に住む誰もが幸せになるためにあるものということや、笠松町でも多くのボランティアが活躍していることを伝えました。

23日は高齢者疑似体験を行いました。初めに、お年寄りになると起きる、身体と精神的変化について考えてから、体験を行いました。体験では「地域デビュー講座」を受講し、サポーターとなっていただいた町内の方にもお手伝いいただきました。体験後、まとめの時間では体験中に何が大変だったかを発表し、体験を通して自分にできることを考えることができました。



何色の文字が見やすいかな



自分たちには何ができるかな

## ふくし体験教室

第2・3回のふくし体験教室を開催し、小学5年生から中学3年生までの13人が参加しました。

第2回7月2日(土)は、「車いすの生活とスポーツ」をテーマに、車いすの操作方法や介助の仕方を体験し、車いすで生活している長谷川健さんに車いすでの生活の工夫や仕事についてお話しいただきました。その後、参加者も車いすに乗って一緒に卓球を行い交流しました。

第3回は7月26日(火)27日(水)29日(金)の3回に分けて笠松町小規模授産所で「障がいについて学ぼう」をテーマに障がいについてや授産所の役割などを学び、利用者の方と同じ作業を体験しました。

様々な体験や当事者の方との交流を通して、「ふくし」について楽しく学びを深めることができました。

### 第2回感想

笠松中学校2年 中島稜太くん

最初は、車いすは不便なだけだと思っていたけれど、話を聞いて不便なことは周りの環境が変えてくれるのが分かり、協力することは大切だと思いました。



長谷川さんと卓球対決！



スープの梱包作業を体験

## Kind活動報告

7月9日(土)にボランティアグループKindのメンバー10人が集まり、5月・6月活動日にメンバーで作成した、玉入れ、紙コップけん玉、画用紙とクリアファイルで作成した浮き出る水族館を松枝保育所へ届けに行きました。保育所での遊びに活用していただいております。保育所の先生からは「子どもたちも喜んでいて、楽しく遊んでいます」との感想をいただきました。

また、ひとり暮らし高齢者の方へメンバーが一人ひとり残暑見舞いを作成しました。今回コロナウイルスの感染状況により、直接お渡しすることはできませんでしたが、それぞれ頑張っていることや体調に気をつけてくださいなどのメッセージを伝えました。



手作りおもちゃをお届け

# 夏休み特集

## 小学生のためのボランティアスクール

7月21日(木)22日(金)特別養護老人ホームリバーサイド 笠松園にご協力いただき、「小学生のためのボランティアスクール」をオンラインで開催し、小学生・保護者含め11人が参加しました。高齢者施設の紹介をはじめ、デイサービス利用者や職員と一緒に体操やジェスチャーゲームなどで楽しく交流しました。また、認知症についてもクイズを交えながら学ぶことができました。参加者からは「認知症でも得意なことができるのはすごい」「認知症の人を見かけたら大人をよべるようになりたい」「子どもと一緒に勉強できて良かった」など感想をいただきました。地域の子もたちとふくしについて一緒に考える貴重な時間となりました。



みんな真剣に聞いています

## 教職員福祉学習研修会

8月1日(月)福祉健康センターで町内教育関係機関の福祉教育に携わる先生方を対象に、教職員福祉学習研修会を開催し12人が参加しました。

高齢者疑似体験、車いす体験など各種疑似体験をはじめ、「フードバンクぎふ 笠松支部」・「こども・だれでも食堂 なおちゃん」代表 小池 直人氏に「子どもの貧困」に関する団体の取組みについてお話しいただきました。子どもたちの食を取り巻く環境はコロナウイルス感染が広がる中、ひとりの食事に寂しさを抱える子どもや食べるものがないといったさまざまな問題があり、参加した先生方からも「地域と連携して子どもたちの幸せを大切にしたい」「居場所作り・つながりの大切さについて改めて考えたい」等の意見をいただきました。今後も様々な団体と連携して地域でできることを考えていきたいです。



「誰でも来れる居場所の大切さ」を語る小池氏

## 学ん Day Park ～子どもの学習支援事業～

8月13日(土)『学ん Day Park ～子どもの学習支援事業～「夏休み編」』を福祉健康センターで開催し、町内の小学1年生から中学3年生までの14人が参加しました。

参加した子どもたちは、ポスター作成や「夏の友」など夏休みの宿題に熱心に取り組んでいました。

また本会職員によるマジックショーやクイズ大会で盛り上がりました。

この事業は生活困窮者自立支援法に基づいた岐阜県からの委託事業で、第2、4木曜日の定期開催編と併せて実施しています。



集中して勉強しました

# ボランティア情報

笠松町ボランティアセンター  
☎387-5332 FAX 387-5134  
長池408-1福祉健康センター内  
8:30~17:15 (土・日・祝祭日は休み)

## 災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催!

災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、21人が参加しました。7月30日(土)および8月7日(日)は羽島郡広域連合消防本部職員に普通救命講習会をお願いし、心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。

8月6日(土)は、笠松町役場防災担当職員より町の防災体制を、町防災士会の会長 河合秀三氏には、「地域防災を考える」としてお話しいただきました。本会職員からは本会が設置・運営する「災害ボランティアセンター」の役割や、実際に災害が起きた時のセンター運営の流れについて説明をしました。9月には「過去の災害をとおして災害に強い地域づくり」をテーマに清流の国ぎふ防災・減災センター コーディネーター 岩井慶次氏に講話をお願いし、今年度の講座は修了予定です。地域のつながりを大切に減災活動に取り組んでいきます。



地域防災の大切さについて語る河合氏

## 真夏の見守り訪問活動を行いました!

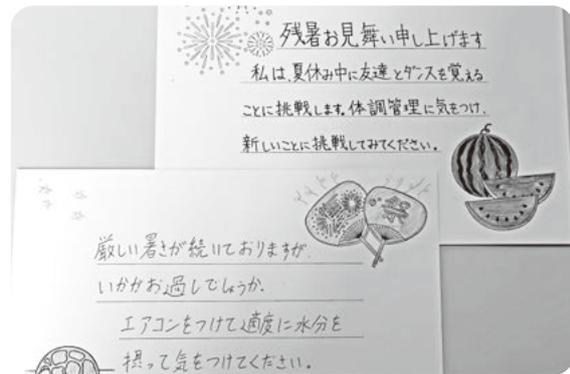
～ひとり暮らし高齢者安否確認事業～

夏季期間(7月から9月)の見守り・交流を目的に笠松ボランティア、松枝ボランティア、日赤奉仕団下羽栗分団の協力でひとり暮らし高齢者配食サービス希望者を対象に訪問活動を行いました。

夏季期間は食中毒予防のため配食サービスはお休みですが、昨年「夏のお楽しみ袋お届けします!」と各団体ともみなさんに喜んでもらえるよう届ける商品を考え、8月にはボランティアグループKindのメンバーが作成した残暑見舞いと一緒に届けました。受け取られた方からは「暑い中会いに来てくれてありがとうね!」など感想をいただきました。各地域とも感染症対策を取りながら楽しく交流され、笑顔いっぱいのおすてきな日となりました。



「お元気ですか?」(松枝地域)



Kindのメンバーからの残暑見舞い

## ありがとうございます

使用済み切手などの収集活動にご協力いただき、ありがとうございます。

6月20日~8月17日(順不同・敬称略)  
㈱羽島調剤薬局 二チイケアセンター岐阜南  
リバーサイド笠松園 笠松町シルバー人材センター  
匿名2件

## 使用済み切手の切り方について

使用済み切手の収集にご協力をお願いします。ご協力いただいた使用済み切手は換金し災害ボランティアセンターの備品の購入などに役立ちます。詳しくは本センターまでご連絡ください。

切手の周囲を消印が残るよう5mm残して切り取る



# ないす♡はあ〜と

## 笠松町心身障害者小規模授産所

☎387-2469 長池237

メール kasaju@ccn5.aitai.ne.jp

HP [https://peraichi.com/landing\\_pages/view/ksj2012](https://peraichi.com/landing_pages/view/ksj2012)

### ボランティア講座(障がい編)

障がいへの興味・関心のある方を対象に、ボランティア講座を開催し、授産所の事業や作業等に協力していただける方を育成するために講座を開催します。

日時：10月19日(水)・26日(水)

午前9時～正午

定員：各5人 参加費：無料

場所：笠松町心身障害者小規模授産所

内容：障がいについて説明、ご家族との懇談、作業体験



ボランティアの方と一緒に作業



## ないす♡はあ〜との会

令和4年  
11月19日(土)



ホームページ画面

「ないすはあ〜との会」を、コロナ対策を十分にしておこないます。バザー品、里芋などの野菜販売、利用者制作作品の展示、マジックショー、盛りだくさんの内容です。ホームページを使って、販売の受付も予定しています。

会の概要とご注文は、次の2つの方法があります。

① パソコンから、下記のURLを入力していただくか、検索サイトで「笠松授産所」と入力ください。

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/ksj2012](https://peraichi.com/landing_pages/view/ksj2012)

② スマートフォンの方はこちらから →  
ないすはあ〜との会の内容について  
お知らせをしています。



※密集を避けるために一度に入場できる人数を制限させていただきます。  
※コロナの状況による開催変更は、ホームページにて連絡させていただきます。

### 特別バザー

授産所へご提供いただいた未使用品を中心に、格別のお値段で販売しますのでご利用ください。

### 野菜の特別販売

無農薬で作った農作物です。里芋はほくほくして味がいいと毎年、ご好評をいただいています。

### 利用者制作の作品展示

それぞれの思いを託してデザインしたトールペイント作品を、1人1作品で発表します。

### 利用者によるマジック演技

利用者1人1マジックを新作でお届けします。全て新作です。練習の成果を見てください。

# 地域包括支援センターだより

笠松町地域包括支援センター ☎388-7133 FAX 387-5134 長池408-1福祉健康センター内

## フレイルを予防しよう！

「フレイル」は海外の老年医学の分野で使用されている英語の「Frailty」が語源となっています。「Frailty」を日本語に訳すと「虚弱」「老衰」などを意味します。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体機能や認知機能の低下がみられる状態のことを指します。高齢者においては、特に発症しやすいといわれています。しかし早めに適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性があります。

フレイルになってしまう要因は様々です。加齢に伴い、様々な心身の変化や社会・環境的要因が重なり合っ起こりますが、一般にフレイルになってしまう要因としては、イラストのように3つの要素が考えられます。

### 身体の虚弱 (身体的要因)

運動器障害、  
低栄養状態など

### こころの虚弱 (精神・心理的要因)

うつ、認知症など

### 社会性の虚弱 (社会的要因)

閉じこもり、  
孤食、孤独など

家にいる時間が長くなると、社会との関わりが一気に減ってしまい、閉じこもりになってしまう高齢者は少なくありません。他人とコミュニケーションを取る機会が大切です。ふれあい喫茶に参加してみませんか？

## 閉じこもりにならないために～ふれあい喫茶のご案内～

レクリエーションを楽しみながら、素敵なひと時を過ごします。笠松・松枝・下羽栗の3地域で毎月各1回、地域の元気サポーターさんたちと協力しながら開催しています。どなたでも参加が可能です。お気軽にご参加下さい。詳細は本センターまでご連絡ください。

開催月	場所	福祉会館 (笠松)	福祉健康 センター(松枝)	総合会館 (下羽栗)	時間	参加費
9月		9日(金)	13日(火)	12日(月)	午前10時 15分～ 午前11時 15分	100円
		マジックショーを 楽しもう	介護予防に役立つ 健康体操	マジックショーを 楽しもう		
10月		14日(金)	18日(火)	17日(月)	レクリエーションの内容は未定です	



お手玉を使って楽しく脳トレ♪

※10月以降のレクリエーションの内容は、元気サポーターさんと決めていきます

ふれあい喫茶開催の際は、マスク着用や消毒など行い、コロナウイルス感染予防に取り組んでいます。また、感染状況によって開催を中止させていただくことがあります。

その他、65歳以上の方に参加していただける場所として、ふれあいひろば、貯筋くらぶ、まちのリハビリ教室を開催しています。ふれあいひろばについては当センターへ、貯筋くらぶ・まちのリハビリ教室については笠松町役場健康介護課(☎388-7171)までお問合せいただくか、笠松町ホームページをご覧ください。



## 福祉の豆知識 ～9月は世界アルツハイマー月間です～

9月21日の「アルツハイマーデー」はご存じですか？

1994年9月21日、スコットランドで国際アルツハイマー病協会国際会議が開催されたのをきっかけに、会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的として、認知症の理解に向けたさまざまな取り組みや活動が行われています。

岐阜県でも、毎年グッズやチラシの配布、講演会やイベントの実施、庁舎や広場噴水のライトアップなどの活動が行われています。この期間にはオレンジ色を目にすることが多いかと思えます。これは、オレンジ色が認知症啓発のシンボルカラーになっているからです。その由来は諸説ありますが、江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵磁器がヨーロッパにも輸出され高い評価を得たことから、それになぞらえて認知症の啓発も広く知れ渡るようにとの願いが込められています。暖かみのあるこの色には「手助けします」という意味を持つとも言われています。ぜひ9月にはいろいろなところで使われているこのオレンジ色に注目してみてください。



(出典：厚生労働省・岐阜県庁のホームページ参照)

## 令和4年度 社会福祉協議会費納入状況報告 ご協力ありがとうございます

皆さまからご協力いただきました会費は、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、様々な事業・運営に使われています。

	加入数	□数	金額(円)
一般会費	5,509世帯	5,524.16	2,762,080
法人会費	215社	262.25	524,500
賛助会費	227人	245.5	245,500
合計	-	-	3,532,080

※一般会費1□500円、法人会費1□2,000円、賛助会費1□1,000円

## 災害義援金募集のお知らせ

義援金にご協力いただきありがとうございます。令和2年7月3日から降り続いた大雨は、熊本県南部に甚大な被害をもたらし、現在も被災地の復旧・復興、被災者の生活再建が続いています。この災害で被災された方達を支援するため、現在義援金を受付しておりますので、ご協力いただける方は、岐阜県共同募金会 笠松町分会（長池408-1 福祉健康センター内）へ、お願いいたします。

### 現在受付中の災害義援金

- ・「熊本県南豪雨災害義援金」 受付期間：令和4年 9月30日まで
- ・「令和4年8月大雨福井県災害義援金」 受付期間：令和4年 9月30日まで
- ・「令和4年7月15日からの大雨に係る災害義援金」宮城県 受付期間：令和4年10月31日まで
- ・「令和4年8月山形県大雨災害義援金」 受付期間：令和4年12月28日まで
- ・「令和4年8月石川県大雨災害義援金」 受付期間：令和4年12月28日まで
- ・「令和4年8月新潟県大雨災害義援金」 受付期間：令和5年 3月31日まで

## あたたかい善意のこころ

皆さまよりお寄せいただきました「あたたかい善意のこころ」は、地域福祉事業に役立てさせていただいております。(6月20日～8月17日)(順不同・敬称略)

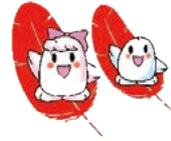
● 匿名 …………… 金 14,000円

● ピアゴ笠松店 …………… 金 23,870円

# 共同募金会笠松町分会からのお知らせ

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。共同募金は高齢者、障がい者、子どもたちなどを支えるさまざまな福祉活動や災害時の支援に役立てられます。次の日程で街頭募金活動を行いますので、皆さまのご協力をお願いします。

10月1日(土)午前9時30分～午前10時30分 トミダヤ笠松店(長池)  
10月1日(土)午前11時～正午 ピアゴ笠松店(米野)



## 支え合いサポーター養成講座開催します

支え合いサポーターとは近年、希薄化しつつある地域のつながりを取り戻すために、地域の困り事を住民同士支え合い、助け合いながら活動をしていくサポーターです。

**対象** 笠松町在住・在勤の人

**定員** 15人

**場所** 福祉健康センター

**日程** 全3回

**第1回** 10月14日(金) 午後1時30分～午後3時30分  
生活支援(支え合い)活動について

障がい者福祉制度  
介護保険制度

**第2回** 10月20日(木) 午後1時30分～午後3時15分  
高齢者の特性・理解、認知症の方との関わり方  
介護技術

**第3回** 10月28日(金) 午後1時30分～午後3時10分  
事例から学ぶ生活支援活動  
清潔保持と健康管理  
修了式

**申込** 10月7日(金)までに本会までお申し込みください。

※原則、初めて参加される方のみ参加申込を受け付けます。2回以上参加された方に修了証をお渡しします。なお修了者には今後笠松町内で自主的なボランティア団体として活動している「小さな手助け笠松」などを紹介します。  
なお、事前申し込みが必要です。



昨年度の養成講座

**お断り** ※コロナウイルス感染拡大防止のため、今後本紙掲載の行事や事業が延期・中止となる場合があります。事前に申し込みいただいた方には、本会よりご連絡いたします。

施設サービスの案内

グッデイ  
すぎない

- デイサービス 入浴、食事、レクリエーション等充実した楽しい一日をご提供します。
- グループホーム 認知症の方の「もう一つの家」として24時間体制でお世話させていただきます。
- 予防リハビリ 体を動かし、頭を働かせ身体の機能回復を図ります。
- 居宅介護支援事業所 介護に関してのご相談を専門スタッフがご受け致します。
- 小規模多機能 デイサービス・泊まり・訪問介護の組み合わせにより24時間サポートをします。

入居受付中



〒501-6047 岐阜県羽島郡笠松町二見町15-1 笠松駅前 TEL.058-387-7101

★財源確保のため広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へお願いします